

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)川西市小戸2丁目プロジェクト	階数	地上13F
建設地	兵庫県川西市	構造	RC造
用途地域	法22条区域	平均居住人員	84人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年10月21日
敷地面積	647 m <sup>2</sup>	作成者	倉橋
建築面積	315 m <sup>2</sup>	確認日	2017年10月23日
延床面積	3,084 m <sup>2</sup>	確認者	吉田



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	入居者が健康かつ快適に暮らせるよう配慮する。	その他 0
Q1 室内環境	遮音性能T-3以上のサッシを採用し、住戸内の騒音対策とした。また、建材資材はFを採用し、快適な住環境となるように配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽により良好な景観を形成している。夜間照明・防犯カメラを設置し、防犯性にも配慮している。
LR1 エネルギー	LED照明等、照明効率の高い器具を採用しています。	LR3 敷地外環境 公開空地を計画することで地域との一体感が生じるよう配慮している。また、幹線道路側に多く植栽帯を設けることで、街並みに対する緑化に配慮している。また、敷地内雨水排水の減少に努め地域インフラの負担軽減に配慮している。
Q2 サービス性能	各住戸に100Mbitクラスのプロードバンドが利用可能な環境が整備されている。住戸部分の天井高さは2.5m以上確保している。	
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない建材を選定するなど、地球環境に配慮した計画としている。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される